

平成30年度決算に係る

決算審査調書

令和元年6月
教育委員会高等学校課

目 次

7	決算調書(総括表)	1
8	事業別実施状況調べ	2
9	予備費の充用調べ	10
10	繰越関係調べ	10
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	

7 決算調書

一般会計(歳入)

区分	科目	予算現額				計	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	計						
	教育使用料	0	0	0	0	1,334,230,719	1,333,904,719	0	326,000		
	教育手数料	7,976,000	0	0	7,976,000	32,757,880	32,757,880	0	0		
	教育費国庫負担金	1,167,177,000	0	0	1,167,177,000	1,132,635,023	1,132,635,023	0	0		
歳	教育費国庫補助金	(0)	(0)	(3,808,000)	(3,808,000)	(3,215,019)	(3,215,019)	(0)	(0)		
	教育委託金	10,720,000	△ 4,176,000	(0)	6,544,000	11,720,599	11,720,599	0	0		
	生産物売払収入	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,150,374)	(1,150,374)	(0)	(0)		
入	延滞金	0	0	0	0	1,150,374	1,150,374	0	0		
	雑入	4,231,000	△ 1,133,000	0	3,098,000	2,511,776	2,511,776	0	0		
	繰越金	(0)	(0)	(1,677,645)	(1,677,645)	(1,677,645)	(1,677,645)	(0)	(0)		
	合計	1,212,888,000	△ 8,877,000	5,485,645	1,209,496,645	2,523,070,465	2,522,744,465	(0)	326,000		

一般会計(歳出)

区分	科目	予算現額				計	決算額 B	決算額の内訳		年度 繰越 額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越	支出及び 繰越			本庁	出納機関			
	教育連絡調整費	1,252,879,000	790,000	0	1,253,669,000	1,208,952,971	59,024,588	1,149,928,383	0	44,716,029		
	教育振興費	262,204,000	△ 17,303,000	0	244,901,000	229,641,546	85,240,256	144,401,290	0	15,259,454		
	教育財産管理費	1,175,000	(0)	(5,485,645)	(0)	(4,453,104)	(0)	(4,453,104)	(0)	(1,032,541)		
	合計	1,516,258,000	△ 16,513,000	5,485,645	1,505,230,645	(4,453,104)	144,264,844	(4,453,104)	(0)	(1,032,541)		
						1,443,537,913	1,299,273,069	1,299,273,069	0	61,692,732		

特別会計
該当なし

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額																			
(教育連絡調整費) 小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業～	24,634,000	0 (△941,000)	21,718,684	0	1,974,316	小学校5校を指定して外国語指導助手(ALT)を配置し、県内小学校への時期学習指導要領に基づく英語教育の円滑な導入に資するため、授業公開・研究協議会を計5回実施した。授業のイメージを共有し、新学習指導要領の目標や内容の理解が深まった。事業校において、児童が英語に触れる機会が増え、英語学習への意欲が高まった。 (高等学校教育企画費へ流用)																			
とっとりイングリッシュクラブ	588,000	0	472,096	0	115,904	中高生の希望者を対象に県内の外国語指導助手(ALT)を活用し、2泊3日の英語キャンプを実施し、英語を学ぶ楽しさやコミュニケーション能力の向上につなげた。 ・中高生53名参加 ・ネイティブスピーカーとのコミュニケーションだけでなく、鳥取県の民話を英訳し、プレゼン等も実施																			
教職員派遣研修費	12,561,000	0	11,905,874	0	655,126	教職員の資質や指導力の向上を図るため、計画的な派遣により研鑽を積んだ。																			
		中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣		指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。																					
		内地留学・新教育大学大学院等への派遣		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>テーマ及び派遣先</th> <th>人数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">内地留学</td> <td>特別支援教育の充実 鳥取大学地域学部(1名)</td> <td>1人</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名) 島根大学大学院 (2年目1名、1年目1名)</td> <td>4人</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上</td> <td>東京大学(2名)</td> <td>2人</td> <td>9日間</td> </tr> <tr> <td>教科等の指導力・専門性向上</td> <td>県立農業大学校</td> <td>1人</td> <td>1年</td> </tr> </tbody> </table>			区分	テーマ及び派遣先	人数	期間	内地留学	特別支援教育の充実 鳥取大学地域学部(1名)	1人	1年	兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名) 島根大学大学院 (2年目1名、1年目1名)	4人	2年	大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上	東京大学(2名)	2人	9日間	教科等の指導力・専門性向上	県立農業大学校	1人	1年
区分	テーマ及び派遣先	人数	期間																						
内地留学	特別支援教育の充実 鳥取大学地域学部(1名)	1人	1年																						
	兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名) 島根大学大学院 (2年目1名、1年目1名)	4人	2年																						
大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上	東京大学(2名)	2人	9日間																						
教科等の指導力・専門性向上	県立農業大学校	1人	1年																						
(主) 高等学校改革推進事業	1,342,000	1,215,000	1,585,940	0	971,060	主な事業に関する調べのとおり 【不用額の理由】 県外生徒のふるさとファミリー登録促進事業補助金の残																			

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
県立高校裁量 予算学校独自 事業 予算額及び決 算額は教育環 境課で計上						学校長が独自性を発揮した学校経営ができるよう、学校運営費、教職員旅費、学校独自事業の総額を一括して配分し、学校長裁量による予算執行を行った。 各学校の課題解決のための臨機な対応ができ、実施に当たっての費用対効果の検証、説明責任を果たすなど、学校の自主・自立に繋がっている。
公立高等学校 就学支援事業	1,181,583,000	△ 425,000	1,140,990,088	0	40,167,912	保護者等の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合算額が50万7,000円未満の世帯について、就学支援金及び学び直し支援金の支給を行った。 【支給状況】 ・就学支援金 在籍者の約85%に支給 支給総額:1,132,635,023円 年度内の受給資格者数 (実人数):10,187人 ・学び直し支援金 支給総額:232,604円 年度内の受給資格者数 (実人数):35人 【不用額の理由】 予算要求に当たり、前年度5月現在の認定者割合を元に必要額を積算しているが、実際に入学し、認定した生徒数が見込より少なかったため、不用額が発生した。
高等学校教育 企画費	24,846,000	0 (941,000)	25,425,479	0	361,521	県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成を行った。 (小学校英語パワーアップ事業から流用)
入学選抜諸費	7,325,000	0	6,854,810	0	470,190	平成31年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。 願書受付(一般) 31.2.21~2.25 入学者選抜検査(一般) 31.3.6~3.7 合格発表 31.3.15
目 計	1,252,879,000	790,000	1,208,952,971	0	44,716,029	

課程	定員	志願者	受検者	合格者
全日制	3,986	4,080	3,998	3,671
定時制	220	145	138	123
計	4,206	4,225	4,136	3,794

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(教育振興費) とっとり農林水産人材育成システム推進事業(県版SPH事業)	7,827,000	△ 1,043,000 (△600)	6,084,697	0	698,703	地域で活躍できる人材育成に向けて、智頭農林高校(林業)、倉吉農業高校(農業)、境港総合技術高校(水産業)の3校を県版SPH事業の対象校として指定し、地域の産業界や教育機関等と連携した取組を行った。その取組の中で、県農林水産部との連携事業「スーパー農林水産業士事業」も始まり、SPH事業の3校から9名のスーパー農林水産業士が認定された。 (未来につなぐ高校生活支援事業へ流用)
(主)アクティブ・ラーニング推進事業～21世紀型能力を育む次世代授業の創造～	4,476,000	△ 744,000 (△50,320)	3,353,115	0	328,565	主な事業に関する調べのとおり (未来につなぐ高校生活支援事業へ流用)
未来を拓く学力向上事業	5,836,000	0	5,587,943	0	248,057	学校の枠を超えた連携を深め、教員同士が協働して教科指導力を向上させ授業改善を図るための取組や、切磋琢磨しながら進路実現に向けて果敢にチャレンジする生徒を育成するための取組を実施。 ・エキスパート教員育成 参加教員数5人 →内3人をエキスパート教員に認定 ・学校連携チャレンジサポート事業(6校8事業) ・理数課題研究等発表会 参加生徒数79人 ・「科学の甲子園」鳥取県大会 参加生徒数67人
県立高校土曜授業等実施事業	3,297,000	0	3,216,513	0	80,487	土曜日において、生徒にこれまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えるため、土曜授業の実施に取り組むとともに、土曜日を活用して、学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会の充実に取り組んだ。 ・モデル校13校17事業実施。 学期に数回程度、希望する生徒を対象に学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会を設定
(主)グローバルリーダーズキャンパス	10,801,000	0	10,188,169	0	612,831	主な事業に関する調べのとおり
鳥取発!高校生グローバルチャレンジ事業	9,923,000	△ 2,857,000 (△594,962)	6,209,408	0	261,630	海外留学(長期・短期)への支援、英語弁論大会の開催及び高校生14名程度を約1週間東・東南アジアへ派遣する事業等を実施し、世界に目を向けた将来展望を持った生徒を育成。 参加人数 ・海外留学への支援 長期2名、短期8名 計10名 ・英語弁論大会23名 ・生徒派遣事業22名 (未来につなぐ高校生活支援事業へ流用)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
外国語教育改善指導費	124,709,000	0 (△818,131)	118,856,811	0	5,034,058	<p>語学指導を行う外国青年（ALT）を県立学校に配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語 24名 ・韓国語 2名 <p>英語担当教員の資質の向上を図るため英語圏の大学への2ヶ月派遣</p> <p>（未来につなぐ高校生活支援事業へ流用）</p>
英語教育強化推進事業	4,652,000	0	3,657,960	0	994,040	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県英語教育推進会議 県の英語教育の施策について成果や課題の検証（年3回開催） ○英語教育研修協力校支援研修 研修協力校の小・中・高等学校において授業研究会を開催し、域内の学校に公開 ○英語教員等の指導力向上 英語教育推進リーダー研修（中学校年3回） ALTの指導力向上研修 ○英語教育推進フォーラム 県内の学校の先進的な取組の発表と有識者による講演
グローバル・リーダー育成事業	11,473,000	△ 5,331,000 (△4,887)	6,136,436	0	677	<p>将来様々な分野において国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成するため、国事業（※スーパーグローバルハイスクール）を活用し、指定高等学校が国内外の大学や企業、国際機関等と連携し、質の高いカリキュラムを開発・実践。</p> <p>※スーパーグローバルハイスクール 期 間：5年間（H27～R1） 指定校：鳥取西高等学校 内 容： ・課題研究。 地域の課題をグローバルな視点で解決する探究型学習を実施 ・外国人教員の授業 グローバル課題に関する英語の授業を実施 7クラス×2時間 ・海外大学派遣研修 生徒8名をアデレード大学（豪）に派遣し、「地域の活性化」などのテーマについて、インタビューなどのフィールドワークとプレゼンテーションを実施</p> <p>（未来につなぐ高校生活支援事業へ流用）</p>
（主）英語4技能ステップアップ事業	8,553,000	△ 639,000	7,430,679	0	420,461	<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>（未来につなぐ高校生活支援事業へ流用）</p>

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額																																																							
(主)鳥取県版キャリア教育推進事業	3,598,000	0 (△101,950)	2,585,621	0	910,429	事業の計画と実績・成果・不用額 主な事業に関する調べのとおり (定時制通信制教育振興費へ流用)																																																							
普通科高校インターンシップ・コーディネート事業	3,999,000	0	3,485,406	0	513,594	普通科高校2校をモデル校に指定し、企業等に訪問してインターンシップを実施した。また、キャリアアプランニング・スーパーバイザーを配置し、地元企業との連絡調整等を行った。																																																							
外部人材活用事業	5,330,000	0	4,363,875	0	966,125	・ 県立高校・大学教員交流事業 高等学校の生徒が大学教員の講義を受けることにより、学ぶことへの意欲の高揚を図るとともに、将来の進路目標に向かって学習する態度の育成に努めた。																																																							
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施校</th> <th>のべ教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>6校</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>公立鳥取環境大学</td> <td>5校</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実施校	のべ教員数	鳥取大学	6校	13名	公立鳥取環境大学	5校	12名																																														
区分	実施校	のべ教員数																																																											
鳥取大学	6校	13名																																																											
公立鳥取環境大学	5校	12名																																																											
						・ 社会人講師活用事業 生徒の興味・関心に応じた多様な教育を展開し、専門的な知識・技術を有する社会人講師として招へいた。 県立高校22校																																																							
キャリア発達支援事業	4,528,000	0	3,672,117	0	855,883	福祉資格取得の促進 ・ 鳥取県ヘルプメイト資格の認定 → 認定者 6校 39名 ・ 介護職員初任者研修の支援 → 実施校 5校 50名 職業教育技術顕彰の実施 → 331名の生徒を表彰 就職支援相談員の配置 → 17校17名 農業先進地農家への派遣 → 派遣生徒 2校3名																																																							
定時制通信制教育振興費	596,000	0 (101,950)	697,950	0	0	0 高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書を給与した。																																																							
						<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">定時制</th> <th colspan="3">通信制</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>冊</td> <td>円</td> <td>人</td> <td>冊</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>鳥取緑風</td> <td>16</td> <td>122</td> <td>93,748</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>11,387</td> </tr> <tr> <td>倉吉東</td> <td>5</td> <td>43</td> <td>31,940</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子東</td> <td>5</td> <td>33</td> <td>24,770</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子白鳳</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>13,696</td> <td>22</td> <td>98</td> <td>103,289</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29</td> <td>213</td> <td>164,154</td> <td>25</td> <td>111</td> <td>114,676</td> </tr> </tbody> </table>	区分	定時制			通信制			人数	冊数	金額	人数	冊数	金額		人	冊	円	人	冊	円	鳥取緑風	16	122	93,748	3	13	11,387	倉吉東	5	43	31,940				米子東	5	33	24,770				米子白鳳	3	15	13,696	22	98	103,289	計	29	213	164,154	25	111	114,676
区分	定時制			通信制																																																									
	人数	冊数	金額	人数	冊数	金額																																																							
	人	冊	円	人	冊	円																																																							
鳥取緑風	16	122	93,748	3	13	11,387																																																							
倉吉東	5	43	31,940																																																										
米子東	5	33	24,770																																																										
米子白鳳	3	15	13,696	22	98	103,289																																																							
計	29	213	164,154	25	111	114,676																																																							
						(鳥取県版キャリア教育推進事業から流用)																																																							

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額						
中学校のための 高等学校理解 促進事業	2,360,000	0	1,427,944	0	932,056	中学生の進路選択に役立てるため、各高等学校の概要を紹介した資料を作成し、県内すべての中学校に配布した。 【不用額の理由】 標準事務費執行残（主に普通旅費、その他需用費の残）						
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導資料 「輝け！夢」の作成</td> <td>県内中学校の2年生全員に配布 7,000部</td> </tr> <tr> <td>中学生県立高校体験 事業の実施(学校裁 量予算で実施)</td> <td>県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校 が期間設定</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	進路指導資料 「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,000部	中学生県立高校体験 事業の実施(学校裁 量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校 が期間設定
区分	実績											
進路指導資料 「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,000部											
中学生県立高校体験 事業の実施(学校裁 量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校 が期間設定											
文化芸術活動 支援事業	35,467,000	△ 5,810,000	28,493,961	0	1,163,039	高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動を活性化し、文化芸術活動に対する機運を高めるとともに、近畿高等学校総合文化祭の成果を維持・継続すべく、日々の部活動の環境を整えた。 また、高校生「まんが王国とっとり」応援団の活動成果の維持・発展を目指し、平成27年度の近畿高等学校総合文化祭鳥取大会のまんが部門開催を契機に設置した「まんが専門部」の活動を支援した。参加・体験型講習会や、韓国の高中生との交流を通じて、まんがを描く力や創作意欲等の向上につながった。						

区分	実績
外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。
合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭宮城大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。
備品整備事業	ホルン、オーケストラチャイム、シロフォン等、日常の活動に必要な備品を整備した。
県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(長野)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(徳島)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助
文化部パワーアップ事業	平成27年度に開催した「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」の成果を維持・継続し、文化部活動のレベルアップを図るため、県高等学校文化連盟に経費を補助した。 ・県外の優秀指導者による生徒への指導や合同練習会 ・全国水準の指導者研修への派遣

区分	実績
まんが制作力向上ワークショップ	平成30年7月14日(土) プロによるまんが講習会 参加生徒数 28名 平成30年5月19日(土) 写生大会 参加生徒数 56名
高校生まんが展	平成30年12月10日(月)～13日(木) 米子コンベンションセンターにて 県内参加生徒数 61名 120作品 (韓国江原アニメーション高校含む)
まんが甲子園参加支援	平成30年8月4日(土)～8月5日(日) まんが甲子園出場 5名
韓国高校生との交流	平成30年11月6日(火)～9日(金) 作品集制作や観光等 県内参加生徒 9名 韓国江原アニメーション高等学校及びソウル市美術館等訪問
高文連へのコーディネーター1名の配置	まんが制作力向上ワークショップや韓国高校生との交流等、企画運営・関係機関との連絡調整を行った。

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
未来につながる 高校生活支援 事業	7,793,000	0 (1,531,760)	9,101,148	0	223,612	<p>高校生等の学校生活を支援するための取組を実施した。</p> <p>(とっとり農林水産人材育成システム推進事業、アクティブ・ラーニング推進事業、鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業、外国語教育改善指導費、グローバル・リーダー育成事業、英語4技能ステップアップ事業から流用)</p>
区分		実績				
とっとり夢プロジェクト 事業		創造力とチャレンジ精神を持った高校生の主体的な企画・活動を支援した。 ・「鳥取ドリームロボットプロジェクト」(鳥取湖陵高校)、「高校生まちなか企業プロジェクト」(鳥取城北高校)、「目指せ、編集王！映像編集の技術と楽しさを極める」(米子工業高等専門学校)				
いじめ問題支援事業		全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。 県立高校24校の1・2年生対象に各校2回実施(定時制は1～3年生) ・教員を対象に、心理検査hyper-QUの結果の分析や活用に関する研修を実施。参加教員数 33人				
高校生マナーアップ 推進事業		高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、あいさつ運動等を実施した。				
		区分	実施期間	参加人数	活動内容	
		第1回	H30.4.10～4.13	約4,200人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ ②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導 ③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動	
第2回	H30.9.11～9.14	約4,900人				
(主) 高校における特別支援教育充実事業	6,207,000	△ 879,000	4,434,547	0	893,453	主な事業に関する調べのとおり
ICT(タブレット端末)活用推進事業	779,000	0	657,246	0	121,754	<p>青谷高校では、一台の端末を数人で共用できるシステムを導入し、個人の学習履歴や成果物を蓄積させることで、個々の理解度に応じた指導を行った。</p> <p>また、鳥取湖陵高校では、教育総合支援型サービスを導入し、タブレット型端末による家庭学習を進めるとともに、保護者への情報伝達に利用したり、生徒・保護者と学習履歴を共有するなどした。</p> <p>多くの学校で、協調学習やジグソー法による授業時における、資料提示、発表用ツールとして活用されており、アクティブ・ラーニング型授業の推進とタブレット型端末の活用推進が相乗的に進行している。</p>
目 計	262,204,000	△ 17,303,000	229,641,546	0	15,259,454	

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(教育財産管理費) 倉吉農業高等学校演習林活用事業	1,175,000	0	490,292	0	684,708	演習林の教育的活用では4月から11月までの演習林実習において育林管理や林内の希少植物の保護等を行った。地域住民や県民を対象とした利用については、演習林散策等の林業体験交流を実施、また鳥取大学から講師を招き木材の利活用についての授業等も行った。 【不用額の理由】 備品購入に係る入札残等
(明許) 倉吉農業高等学校演習林活用事業	5,485,645	0	4,453,104	0	1,032,541	演習林のうち、29年度中に実施できなかった32haについて、間伐等の整備を行った。
目計	6,660,645	0	4,943,396	0	1,717,249	
合計	1,521,743,645	△ 16,513,000	1,443,537,913	0	61,692,732	

9 予備費の充用調べ
該当なし

10 繰越関係調べ
(1) 継続費逐次繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ
該当なし

(3) 事故繰越調べ
該当なし